

穂見の里

北杜市立長坂中学校
学校だより



<文責>
校長 板山俊彦
【令和6年11月28日】

帰宅し東の空を見上げると、冬の夜空を代表する星座である「オリオン座」の雄姿を目にすることができるようになりました。一方、目を西の空に転じると、未だにデネブ、ベガ、アルタイルと「夏の大三角形」を確認することもできます。空気が澄み、星空の観察に適した季節になりました。厚手の衣類を身にまとい、ご家族で一時夜空を見上げてはいかがでしょうか？

スクールバス(日野春線)のルート変更について

スクールバス(日野春線)において、懸案事項が2つありました。

1つ目は、両宿公民館前の南北に走る市道は「大型車通行禁止」のため、スクールバスが通行できないということ。これにより、両宿地区周辺に住まいのある生徒は、街灯のない細い農道まで行きスクールバスに乗降しなければなりません。ちなみに、長坂小学校はワゴン車(普通車両)を使用しているので影響はありません。

2つ目は、交通量が非常に多い下条交差点付近におけるスクールバスの乗降です。ここで乗降する生徒は、歩行者用の信号機が設置されていない交差点を2度に渡り横断しなければなりません。また、近くにコンビニエンスストアができることにより、この交差点周辺の車の動きが複雑になり、生徒が安全にスクールバスに乗降することが難しい状況でした。

そこで、1つ目の懸案事項を改善するために、渋沢地区並びに塙川地区の関係者の方々に状況を説明すると共に、改善策をご相談しました。すると、早速関係者の方々が「大型車通行禁止」の状況は維持したまま、スクールバスの通行に関してのみ認められるよう、関係機関に働きかけてくださいました。そして、それが今回実現しました。

2つ目の懸案事項の対応策として、スクールバスの乗降場所を下条交差点から旧日野春小学校へ変更することとしました。これに関しても、現在旧日野春小学校を使用しているハケ岳名水会関係者のご理解があったからこそ実現したことです。

現在は、新しいバスルートでの運行時刻表作成のため、バス運行会社である北杜タクシータクシードラムが試験走行等の対応をして下さっています。正式な新ルートでの運行となりましたら、利用する生徒の保護者の皆様を始め、関係者に改めて連絡させていただきます。

今回の対応によって、生徒の安心安全に関する事柄が一步前進しました。もともと今回の件も、保護者の方が学校に情報を寄せ下さったことから始まります。気になる事がありましたら、ぜひご相談ください。今後も保護者・地域・行政・学校が連携して、知恵を出し合って対応していきたいと考えています。

本校ではホームページを通して、学校の様子を随時お伝えしています。

また、各種届文書もダウンロードできます。ご活用ください。

<https://hokutoed.main.jp/nagasakajhs/>



「災害時における地域と学校の連携について 考える集い」を開催しました！

11月9日（土）に、本校の学校運営協議会主催による「災害時における地域と学校の連携について考える集い」が開催されました。当日は、本校生徒4人を含め、地域の方々を中心に27人が参加してくださいました。

北杜市役所消防防災課の深沢朋彦様による「能登半島地震災害派遣に携わって～被災地の状況と地域（学校）の役割について～」の講演会では、能登半島（七尾市や珠洲市）の被災状況を、写真等の資料を用いて説明していただきました。また、北杜市が地震によって被災した場合の想定についても、震源地別に細かく説明してくださいました。講演後には、参加者による感想発表や意見交換が行われました。防災に関して日頃思っていることや、不安に感じていることなどを気軽に出し合うことにより、学びを一層深めました。

その後、校長より「避難所開設支援マニュアル」を用いて、災害時の学校の役割について説明をしました。災害発生時に教職員が優先することは、生徒の安全確保と教育機能の維持。そして、教育活動再開に向けた取り組みであることをお話しさせていただきました。

最後に参加者全員で、防災倉庫を見学しました。私も初めて内部を拝見しました。飲料水等が棚に収納されていました。これらを頼ることなく、日々の平穏な生活が続くことを願ってやみません。



「部活動の地域移行」について

山梨県は令和5年12月に「やまなし学校部活動及びやまなし地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」を策定しました。そこには「少子化が進展し、学校規模が縮小する中、学校部活動を従前と同様の体制で運営することは難しくなってきており、学校や地域によっては存続が難しい状況にあります。また、専門性や意思に関わらず教師が顧問と務めるこれまでの指導体制を継続することは、学校における働き方改革が進む中、より一層厳しくなります。」と現在の学校現場がおかれている状況が記されています。この状況は本校においても、決して例外ではありません。

山梨県は休日における地域のスポーツ・文化芸術環境の整備を着実に推進し、令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間と位置付け、地域の実情に応じて可能な限り早期に学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行を目指しています。

これを受けた北杜市教育委員会では、北杜市と同規模の先進市をモデルとして、地域移行についての展開を探っている状況です。今後の進展状況によっては、従来の学校部活動が大きく変容する場合もあります。部活動の地域移行に関する情報は、随時発信していくと考えています。

なお、北杜市校長会では、部活動の地域移行とは別に、北杜市内の中学生が一緒に部活動練習を行う「合同部活動練習会」を始めました。同じ部活動を他校の生徒と共に練習することにより、技能を向上させたり、交流を深めたりしています。ご承知おきください。